

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年9月5日
タイトル	じょうずに植えたよ！初めての田植え！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年6月4日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組94名が、福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員のかいのあきのり廻野明倫さんのほ場で田植えの農業体験をしました。

子ども達は、2組に分かれ一組ずつ田んぼへ入ります。初めて田んぼに入った子ども達は「きゃー」と歓声をあげながら一步一步田んぼの奥へ進みます。なかなか進めない子は先生やお父さん、お母さんに手を繋いでもらっていました。一緒に入る保護者も田植え初体験の方が多く、足元に気を付けて慎重に歩いていました。

いよいよ田植えとなると、初めは恐る恐る苗を持って土に手を入れていましたが、一度植えると慣れてとても楽しそうに植えていました。植える前には自分の足あとの穴をちゃんと均して植えていました。

苗は、事前に松永幼稚園へ出向き子ども達に籾蒔き体験してもらい、それを廻野さんが育苗しておられたもので品種は「恋の予感」です。



一組目が田植えをしている間、ほかの子ども達は水田の周りで応援していました。自分たちの順番が来ると裸足になり「きゃー」と歓声をあげながら、田んぼに入りました。入れ替わりに田植えが終わった子ども達は、農業用水路で泥を簡単に落とし持ってきた水で丁寧に洗っていました。

田植えを待っている子ども達は、農業用水路にいるカエルや虫に興味津々で、スイスイ泳いでいるカエルを素手で捕まえて見せてくれました。

廻野さんから「これから稲刈りまでの間、自分が植えた稲が成長しているところを見に来てください。」と言われ、子ども達は大きな声で「今日はありがとうございました。」とお礼を言って田植えを終わりました。

子ども達に「今日、足を洗ったり、カエルをつかまえたりした川は、田んぼのためにとても大切なものだけど落ちるととても危ないから、いつもは絶対に遊ばないように。」と注意しました。水路転落防止呼掛けのチラシと福山市上下水道局が提供して下さった災害備蓄飲料水「福山の水」は松永幼稚園より保護者の方へ配布しました。

これから子ども達は稲の成長を見守り、秋には稲刈りを体験します。収穫した米でおにぎりパーティーを開く予定となっていて今から楽しみにしています。